



第8号

発行日 平成17年1月4日

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム広報誌

ななくい

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム広報委員会編集 発行人 園田 茂

〒514-1295 三重県久居市大鳥町向広424-1

電話 059-252-1555 (代表)

ホームページ <http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/>

FAX 059-252-1383

平成17年を迎えて

地震や大雨に驚かされた平成16年も終わり、また、新たな年を迎えました。私たち七栗サナトリウムも常に発展し、皆様のお役に立ちたいと思っています。私たちの方向性をお示しして新年のご挨拶に代えさせていただきます。

七栗サナトリウムは大規模な総合病院ではありません。入院ベッド総数が218床、リハビリ医学講座、外科学・緩和ケア講座、内科学講座の3科です。しかし、その分、強い分野にはとことん強い病院を目指しています。

緩和ケア病棟は平成9年に認可されて以来、三重県内でのホスピスの必要性を一手に引き受けてきました。その経験・伝統を活かし、さらに栄養の側面を加えた医療を展開中です。平成17年度中に院内の改装を行い、心地よく過ごして頂くためのコミュニティを作りあげる予定です。ご期待下さい。

集中的にリハビリを行うために作られた回復期リハビリ病棟106床などを、38名の療法士と、8名のリハビリ医(うち専門医が4名)が担当しています。この密度の濃さは県内随一と自負しています。訓練室と病棟が一体化したリハビリセンターでの発症早期からのリハビリが健在です。さらに地域



回復期リハビリ病棟
2階

病院長 園田 茂

緩和ケア病棟
談話室



に戻った患者様の再入院リハビリなどにも活用できる訓練室を増築し、幅広いニーズに応えようと考えています。

もちろん、病院としての必須機能は常に満たします。平成16年には日本医療機能評価機構の病院機能評価認定を取得しましたし、これからも随時、職員教育や院内システムの点検、機器の更新などを行っていきます。また外科・緩和ケア講座ではコンスタントに手術を行っており、急変時にも対応します。地域支援の目的でケースワーカーと在宅介護支援センターを統合することも考えております。

安心してご入院頂けるよう、地震などの災害対策にも目を向けています。トランシーバーを各病棟などに常置して連絡体制を整えたことは、訓練を監督して頂いた消防の皆さんからお褒め頂きました。病院の性格上、長めに入院することもございますので、携帯電話の解禁、無線インターネット設備の設置(FreeSpot)なども実行し環境の向上に努めております。

このような特徴を持つ七栗サナトリウムを皆様のニーズに合わせた形で今後ともご活用下さい。

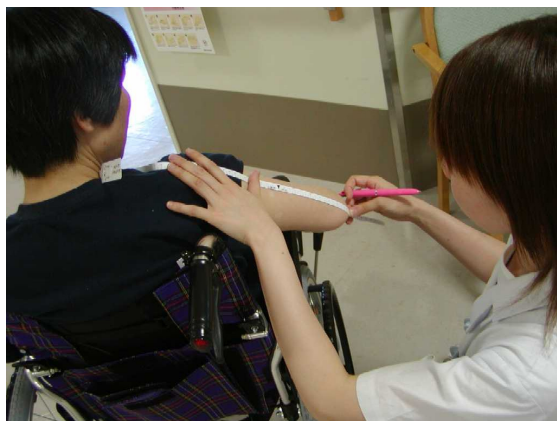
NST(栄養サポートチーム)の一員として

管理部食養

管理栄養士 白山弥寿子

2004年4月から病院長直属の院内全職種上げてのNST(栄養サポートを職種の壁を越えて実践する集団)が稼動をしております。東口高志教授の発案されたPPM(各部署から人・知恵・力を持ち寄ってNSTを運営する)システムにより実施されています。

毎週月曜日の午後にNST業務が行なわれ、NSTミーティングは各部署より25～35名のメンバーが集まり、NST回診での問題点・疑問点を提示し改善点等を検討し今後のNST回診に反映しております。また新しい知識を得るためのshort time study も実施され、我々栄養士と



病棟での身体計測

してはあまり知識を得る機会がなかった経管栄養の手技や、車椅子上での座位姿勢の取り方の内容等、職域外の知識を得る事で、患者様に接する中で栄養アセスメントを実施するうえで非常に役立ってきております。NSTミーティングの後のNST回診ではそれぞれ受け持ちの病棟に向向しております。

私達栄養士は、当院へ入院した患者様全員に入院時初期評価の中の一つに栄養アセスメント(身体測定、血液検査、生活状況の聞き取り等)をさせていただいております。身体計測《身長・体重比》よりBMI(体格指数)を求め、東口教授

考案の計算器を用いてHarris-Benedictの式によるBEE(基礎エネルギー消費量)を算定。上腕周囲長、上腕三頭筋部皮下脂肪厚計測をすることで骨格筋量と脂肪量を求め栄養評価に関与しております。

回復期病棟や緩和ケア病棟、療養型病棟の入院患者様にはPEM(たんぱく質・エネルギー低栄養状態)が多い事が確認されております。身体計測は、入院中の血圧測定や体温を計測するバイタルサインと同じように重要視されてきています。

入院時初期評価や入院中栄養状態が悪く主治医が問題ありと認めた患者様は、NST回診時NSTメンバーによって適切な栄養管理を受けています。栄養士はそこで必要栄養量を求め摂取状態の把握や時には嗜好を聞き取り、メンバーの一員として活動させていただいております。

まだまだ、勉強する事ばかりですが、安全で効果的な栄養管理をすることで早期回復、QOL(生活の質)の向上につながる事ができるよう、病棟と食養を駆けずり回っております。今後も更に努力していきたいと思っております。



白山管理栄養士(右)
坂井田管理栄養士



榊原栄養士(右)
今城栄養士

病院からのお知らせ

地域講演会のご案内

寿大学

日時 平成17年2月16日(水) 13時30分～15時

場所 津中央公民館 3階ホール

津市丸内養正町1-1 TEL 059-228-2618

講師 藤田保健衛生大学七栗サナトリウム リハビリテーション部
理学療法士 和田 陽介

演題 「転倒防止について」

地域講演会報告

10月15日(金) 戸木町公民館 「生き生き 今日青春」

講師 ケアマネージャー 永田はるみ

10月15日(金) みえ社会保険センター 痴呆について

講師 リハビリテーション科医師 花村美穂

10月25日(月) 久居市民大学榊原地区別学級 榊原農民研修所
生活習慣病について

講師 内科 助教授 鹿野昌彦



10月15日 戸木町公民館の様子

10月15日みえ社会保険
センターの様子



10月25日
榊原農民研修所の様子

◆本館1階ロビーに無線LANシステム「FREE SPOT」を導入◆

藤田保健衛生大学七栗サナトリウムでは、いつでもどこでも簡単にインターネットに接続できる無線LANのインターネットサービス(FREESPOT)の導入を進めています。

ワイヤレスで手軽にご利用頂けるため、病室でテレビを見る様にちょっとした時間にインターネットをご利用いただけます。

しかも、プロバイダ等の加入は一切必要ありませんので、どれだけ使っても無料です。

※ご利用される方は、無線LAN(IEEE802.11bもしくはIEEE802.11g準拠)機能の付いたパソコンを持参いただく必要があります。

外来医師担当表

平成17年1月1日現在

	月	火	水	木	金	土
内 科	鹿野助教授	鹿野助教授	鹿野助教授	※交代制	鹿野助教授	鹿野助教授
外 科	東口教授	伊藤講師	東口教授	村井医師	飯田講師	伊藤講師
リハビリテーション科	園田教授	鈴木医師	花村医師	三沢医師	岡本医師	※交代制

※ 注意 内科木曜日は大学医師が来院する予定です
リハビリテーション科土曜日は岡崎医師・加藤医師が交代で診察します。

携帯電話の使用について

医療機器等への影響を考え当院では携帯電話の使用を制限させていただいておりました。

しかし、電波環境協議会の『※携帯電話等の使用に関する指針』を受け、2004年12月1日から、医療機器の誤作動を起こす可能性の低い場所において携帯電話をお使いいただけるように変更させていただきます。

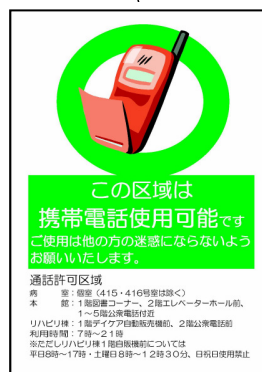
つきましては、下記の「使用における注意事項」を守っていただけますようお願い申し上げます。

★携帯電話の使用区分は以下のとおりです

使用禁止区域(レッドゾーン)



会話許可区域(グリーンゾーン)



◆使用における注意事項

1. マナーモードに切り換え、他の方に迷惑（長時間の会話・大声での会話）にならないようご協力をお願いします。
2. 病室内での使用は『メール』のみとさせていただきます。
3. マナーの守れない方は使用制限をさせていただく場合があります。